感染症ワクチン接種について

麻疹 風疹 水痘 流行性耳下腺炎	臨床実習に際して、学生の皆さんが不用意にウイルスに感染しないために、事前にウイルス抗体検査が陽性、あるいは一定のレベル以上であることが求められます。そのため、抗体価が不足している方は、再度ワクチン接種を受ける必要があります。また、就職に際しても、同様に抗体価データを求められる場合があります。 抗体価が不足している方は、ワクチンを接種しておくことをお勧めします。 クリニックで接種希望の方は、学生課から月に1回送付される「ワクチン接種予約について（麻疹・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎）」で次月の予約をしてください。
B型肝炎	B型肝炎に関しても、臨床実習の際、事前にHB s 抗体価が一定基準値以上であることが求められる場合があります。抗体価が不足している方は、ワクチン接種を受ける必要があります。学科で行うＢ型肝炎集団接種については、学科の指示に従い、接種してください。

T-SPOT検査について

T-SPOT検査	結核感染の早期発見の手法が、ツベルクリン、胸部X線検査から、T-SPOT検査に変わりました。T-SPOT検査は、末梢血リンパ球を結核菌特異的なペプチド抗原で刺激し、ガンマインターフェロンの産生を測定する手法で、特異性が高い検査です。入学前に検査をし（2020年度以前は学生健診で検査）、「判定保留」又は「判定不能」又は「判定不可」の場合は再検査をします。「陽性」の場合は至急内科外来を受診し、胸部X線検査と血液検査（CRP）をします。